

## 教育心理学教室教官の研究状況報告

### 研究経過報告 —— '90年秋～ '91年夏 ——

小 嶋 秀 夫

【歴史的・文化的発達研究】 '91年7月にミネアポリスで開かれた International Society for the Study of Behavioral Development (ISSBD) 11回大会で、シンポジウム Historical Developmental Psychology を Prof. W. Koops (Vrije Universiteit, Amsterdam) と共同で企画し発表した。発表者4人のうち3人 [Kojima; Borstelmann (Duke University); Koops] は、アマチュアとして、一次的歴史資料の分析を手掛けてきた心理学者であり、もう1人は発達現象に関心をもつ歴史家の Dr. Brumberg (Cornell University) であった。そして社会学の Prof. Elder (University of North Carolina at Chapel Hill) に討論者になってもらった。私の話題は、Japanese child-rearing advice in its cultural, social, and economic contexts: 1650s - 1980s であった。このシンポジウムの内容は、後に論文にまとめることになる。

引続いて、ミシガン大学で開催されたワークショップ Asian Perspectives on Human Development (ISSBDとミシガン大学共催) には、講師陣の一人として参加し、欧米を中心とした研究者に、歴史的視点から見た日本の対人関係・自己・発達の概念の話をし、種々の討論を行った。講師陣は日本(4名)・中国(3)・台湾(1)で、東アジアの発達研究を欧米の研究者に組織的に提示する最初の試みとして、このワークショップは成果があったと評価された。しかし同時に、私としては心を新たに仕事を進める必要性を感じ、自らを励ました。この領域での自分の仕事を英語の本にまとめるために、数カ月間を外国で過ごすことが許されたらと思う。

なお、以前に述べた下記論文が実際に現れた: Family life and child development in early modern Japan. Zeitschrift für Sozialisationsforschung und Erziehungssoziologie. 1990, 10, 314-326.

【家族関係; 社会的相互作用・対人関係と発達】 「親となる過程の理解」という章が、我妻 堯他編の『母性

の心理・社会学』(助産学講座 3・医学書院, 1991年4月)の中に出た。またその中でも扱った養護性(nurturance)の発達の問題は、日本教育心理学会第33回総会(上越市, 1991年9月)で発表することになっている。

【発達観】 この領域では、人生の時刻表・発達の時刻表の問題に重点を置いて進めることにしている。それを調べる1つの方法として開発してきたのが LCS-D (Life Course Study through Drawing) であるが、従来一枚絵の他に、紙芝居方式のものを考えた。その代表的な結果は、日本発達心理学会第2回大会(東京, 1991年3月)のポスター・セッションで発表した。なお、この紀要の紙上シンポジウムでの私のコメント「生涯発達についてのいくつかの論点」にも、関連した視点が含まれている。

【レビュー論文】 日本の教育心理学の歴史的背景・現状と課題を扱った論文1篇が、近く現れることとなった: Current status, historical background, and problems of educational psychology in Japan. Zeitschrift für Pädagogische Psychologie, 1991, 5.

【テキスト等】 『児童発達心理学への招待』という本が出た(サイエンス社, 1991年3月)。まだ不十分な点や細かい誤りを含んだものであるが、歴史的・文化的視点を1冊のテキストの中で、現段階の自分としてできるだけ生かそうと試みたものである。また、『小児科 Mook』60号(山下文雄編, 金原出版, 1991年4月)に、子どもの発達過程についての小論が出ている。大幅に遅れていた『教育心理学小辞典』(三宅和夫・北尾倫彦・小嶋秀夫編, 有斐閣)も、間もなく出ることとなった。

【その他】 入試研究に関する科研の報告書(1991年3月)の担当部分を村上 隆氏と共同で執筆した。その他、市販誌等の若干のエッセイと、短い Book Notice (Child Development Abstracts & Bibliography, 1991, 65 (2), 91-92.) が現れている。

(1991年8月14日)